

高石駅周辺整備基本計画（概要版）

1.計画の目的

高石駅では令和3年5月に「南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業」が完了し、東西往来の利便性が向上し駅前施設のリニューアルやリノベーションによる既存ストックを活用した新しいまちづくりの芽が育ちつつあります。

このような変化の中、新たな人の流れや高架下空間を最大限活用した「訪れたいくなる。歩きたいくなる。過ごしたいくなる。」魅力的なエリアづくりを目的として、「高石駅周辺整備基本構想」を令和3年3月に策定しました。

高石駅周辺整備基本計画では基本構想に基づき関連事業計画や過年度調査結果を踏まえて官民が連携したまちづくりを目的としています。

2.目指すべき将来像

基本構想の中で示された「人がつながる、集う場となる、ひらかれた駅前」という目指すべき将来像の実現のために、基本計画では現状の社会課題を勘案した「駅前広場を中心とした、多世代交流の象徴の場」となる市民及び周辺事業者が協働する整備を目指します。

具体的には社会実験で体現したような、広場にはみどり豊かな芝生空間が広がり、子ども連れの親子が買い物ついでに遊べる場や駅利用や待ち合わせなどでも快適に利用でき、週末には多様な市民活動の表現の場として活用できる、まちのポテンシャルを引き出すための空間の整備を進めます。

社会実験時の駅前広場の様子



3.課題整理

駅東側の現状と課題

1・放置自転車への対応	2・交通ルールの認知	3・用途に応じた空間の再分配
4・噴水の段差解消	5・潤いあるみどりの配置	
6・歩行動線への接続と周遊性の確保	7・公共用地と民有地の一体性	8・夜間照明の再構築

駅西側の現状と課題

1・必要な交通機能の確保	2・滞在空間の確保
3・潤いあるみどりの配置	4・市有地の一体的な活用

4.整備方針

・コンセプト

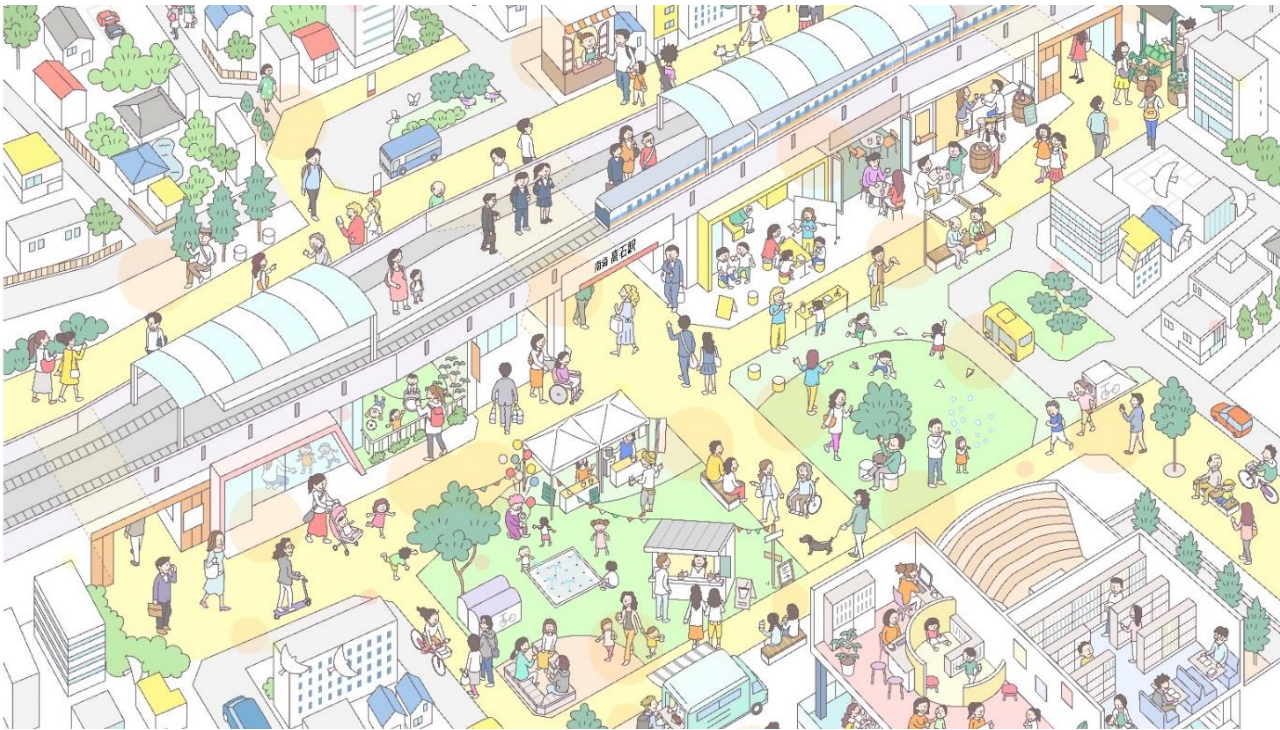
将来像の実現のためには市民及び隣接する民間事業者との相互理解がなされた基本計画の策定が必要です。関係する事業者の共通理解のため以下に整備に対する指針を設け、これまでの課題の解消と利用者のライフスタイルに寄り添ったまちづくりを実現します。

地域の将来像
「人がつながる、集う場となる、ひらかれた駅前」



整備コンセプト
「駅前広場を中心とした、多世代交流の象徴の場づくり」

「人がつながる、集う場となる、ひらかれた駅前」のイメージ



(1) 周辺環境との調和

人中心の空間へ転換し、駅周辺をつなぐにぎわい空間づくりを行います。

(2) 自然を感じられる環境づくり

みどりや水など自然を感じられる環境づくりを行います。

(3) 歩行者ネットワークづくり

まちの周遊性の向上とゆとりある滞在空間を整備します。

(4) 人にやさしいまちづくり

歩行者中心の交通環境の実現、障害物の除去や段差解消を行います。

(5) 多様な活動が表現できる場

多様な活動を受け入れ、誰でも利用しやすい環境と仕組みづくりを行います。

5.東口の整備方針

・東口整備プラン

みどり豊かな滞在空間

- ・水とみどり溢れる広場空間
- ・芝生が広がる、みどり豊かな居心地の良い空間
- ・イベント時にもゆとりのある滞在空間

一体的なエリアの活用

- ・東西の往来が活発になる開放的な動線
- ・駅と周辺施設をより安全・快適につなぐ動線
- ・高架下空間と広場をつなぐ周遊性の高い歩行者ネットワーク

交通機能の最適化

- ・利用状況に合わせた交通広場の整備
- ・放置自転車の誘導による滞在空間の拡張

多世代交流の象徴の場

- ・「集う場」の象徴となるモニュメントの設置
- ・非日常のイベントにも対応し、汎用性が高く機能が充実した広場
- ・夜間照明の確保による安全・安心な環境の整備

アプラたかいし側から見る東口広場イメージ写真



※完成を予想したイメージ写真は今後の社会情勢、関係機関との調整により変更になる可能性があります。

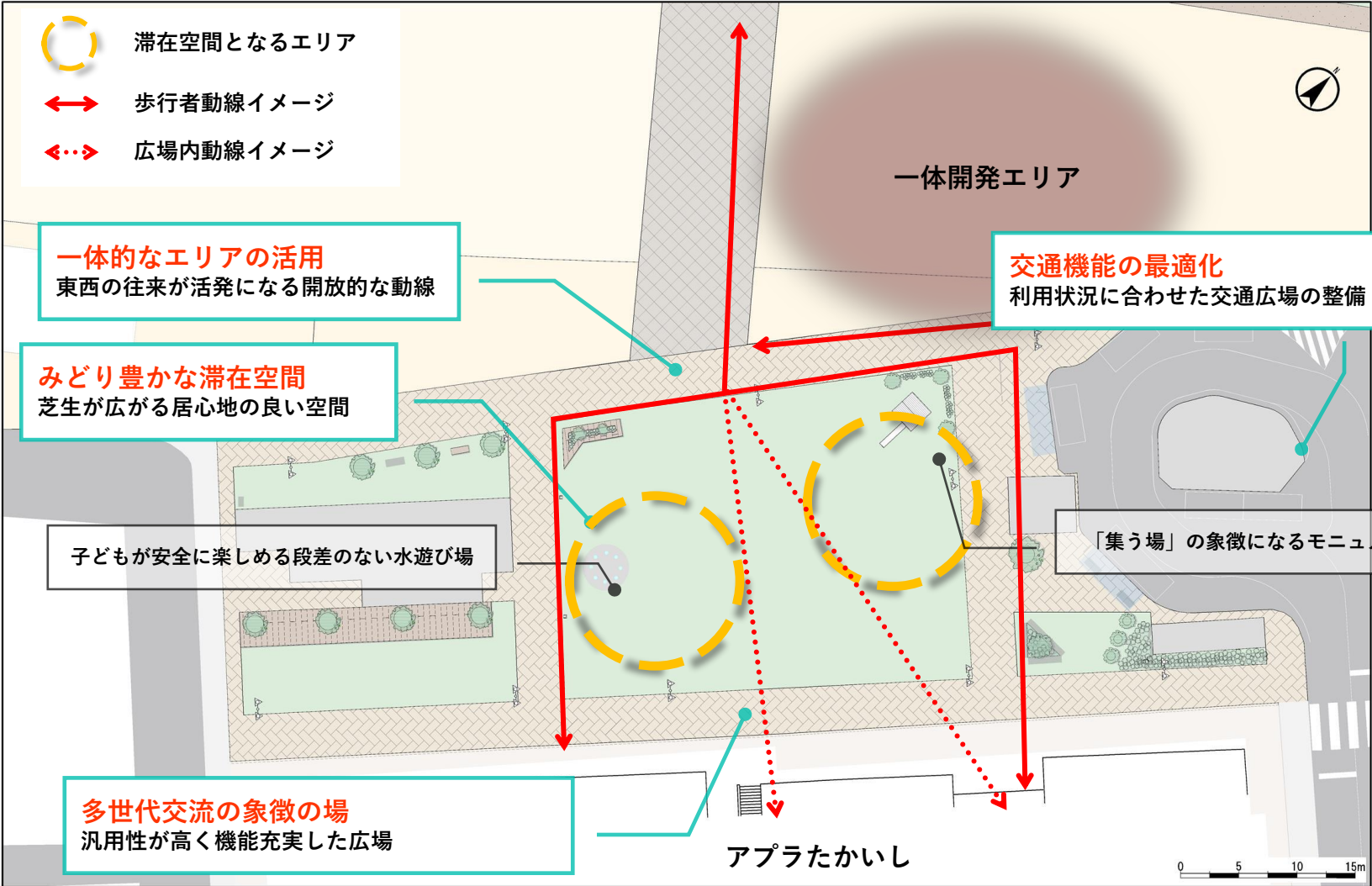
日常の東口広場イメージ写真



夜間の東口広場イメージ写真



※完成を予想したイメージ写真は今後の社会情勢、関係機関との調整により変更になる可能性があります。



※イメージ図は今後の社会情勢、関係機関との調整により変更になる可能性があります。

6.西口の整備方針

・西口整備プラン

交通機能の強化

- ・ 利便性の向上
- ・ 歩道の拡幅や段差解消によるユニバーサルデザイン化の推進

歩いて楽しい歩行空間

- ・ みどりを感ずる歩行空間
- ・ 市有地の活用により人が中心になった歩行空間
- ・ 東口広場と連動した西口広場の活用

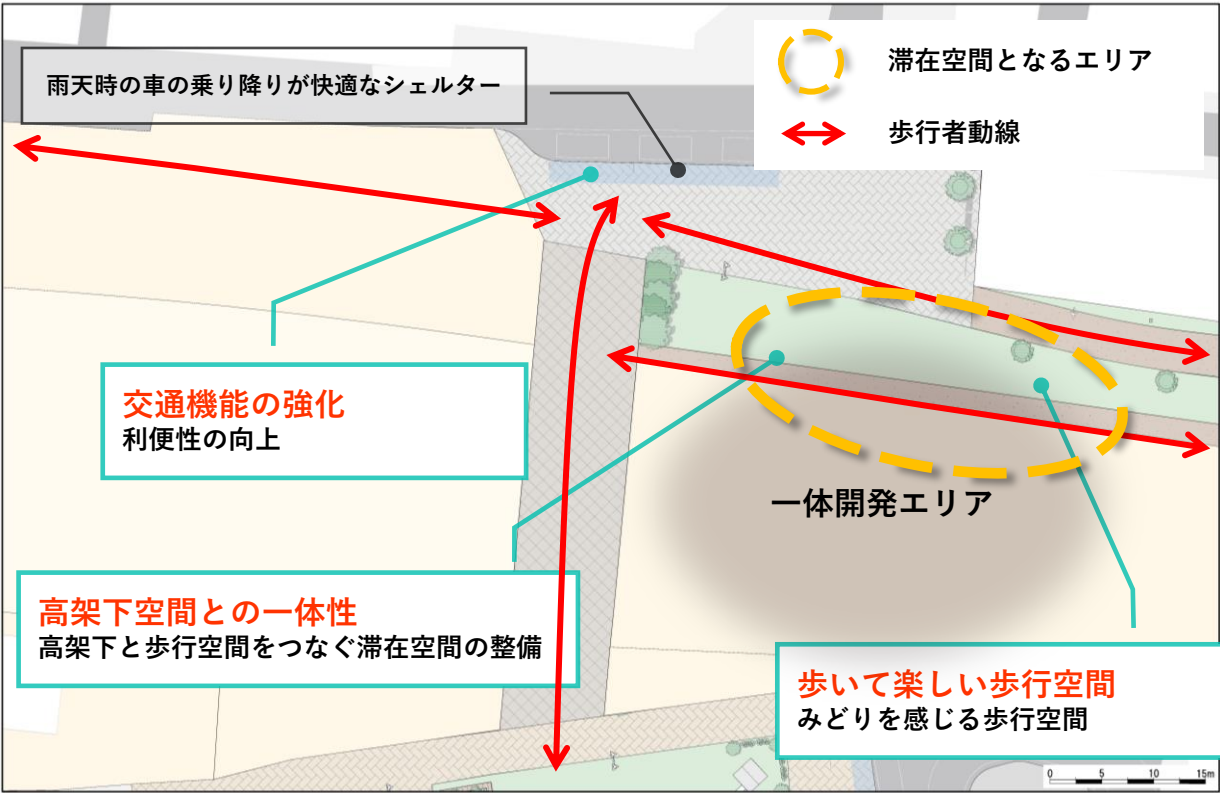
高架下との一体性

- ・ 高架下と歩行空間をつなぐ滞在空間の整備
- ・ 歩行空間と高架下空間のデザインの調和

西口広場イメージ写真写真



※完成を予想したイメージ写真は今後の社会情勢、関係機関との調整により変更になる可能性があります。



※イメージ図は今後の社会情勢、関係機関との調整により変更になる可能性があります。

7.整備に向けて

・スケジュール

市民や駅前広場の管理・運営組織の検討とあわせて継続的な議論と意見聴取を行い整備計画の検討を行います。

項目	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
高架下利用協議	高架下の利用方法に関わる協議				
駅東側公共空間	設計	整備			
駅西側公共空間		設計	整備		
市民活動の促進	駅前広場管理組織の検討				
高架下空間の活用		計画検討			

上記は本市が現時点で想定するスケジュールであり、今後の社会情勢の変化や周辺事業者との合意形成の時期を鑑み事業スケジュールを決定します。

・地域を担う組織づくり

高石駅周辺がにぎわいの中心になって行く過程において市民活動の促進や活動の受け皿（窓口）となる組織が重要です。一過性のイベントではなく日常の風景として継続できる仕組みを構築し、ノウハウを蓄積していくことが必要であり、そのためにはまちづくり組織や、活動の担い手などと行政が連携し将来のエリアマネジメントへ展開していく必要があります。

